

## 令和2年度第1回袖ヶ浦市公民館運営審議会

1 開催日時 令和2年6月25日(木) 午後3時開会

2 開催場所 平川公民館 2階 視聴覚室

3 出席委員

委員長	稲毛 博夫	委員	早川 敦
副委員長	長崎 容子	委員	齋藤 隆彦
副委員長	大野 俊江	委員	片寄 礼子
委員	庄司 三喜夫	委員	遠藤 信子
委員	代田 雅文	委員	鈴木 利夫
委員	田中 輝博		

(欠席委員)

委員	山田 まち子
----	--------

4 出席職員

教育部長	根本 博之	平川公民館主幹	能城 秀喜
生涯学習課長	生方 和義	長浦公民館館長	柏木 喜男
市民会館館長	濱崎 雅仁	長浦公民館顧問	石橋 健彦
市民会館主幹	大野 正彦	根形公民館館長	大田 知司
平川公民館館長	加藤 寿起	根形公民館顧問	平賀 栄三郎
平川公民館顧問	今宮 公雄	平岡公民館館長	鹿嶋 章夫

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 報告

- (1) 令和元年度市民会館・公民館事業の実施結果について
- (2) 市民会館・公民館における新型コロナウイルス感染症への対応について
- (3) その他

7 議題

- (1) 令和2年度公民館運営審議会の年間計画について
- (2) その他

## 8 議 事

### 稲毛委員長

報告1、令和元年度市民会館・公民館事業の実施結果について、事務局より補足説明をお願いします。

### 事務局

(資料1～23ページに基づき、濱崎市民会館館長、加藤平川公民館館長、石橋長浦公民館顧問、大田根形公民館館長、鹿嶋平岡公民館館長が説明。)

### 稲毛委員長

ただ今の説明に対して、委員の皆さまからご質問をお受けします。

### 長崎副委員長

市民会館の「乳幼児家庭教育学級」で父親と子どもの多くの参加があったことは、評価すべきだと思う。小泉大臣も育休をとっており、父親の関心はだいぶ広まっていると思う。千葉県でも痛ましい幼児虐待の事件が起きているので、父親参加型の講座を多く行って一般の方々に訴えていくことは非常に大切なことだと思う。「さわやかセミナー」で社会教育推進員の資質の向上を図ったことだが、社会教育推進員は地域住民の代表であり、貴重な考え方も持っているので、今後も更に活躍して行ってほしい。「地域で取り組む高齢者講座」については、超高齢化が加速しているので、高齢者の講座を大切にしてほしい。

資料5～6ページの「災害・感染症への対応」は、市民会館だけ資料に記載されているが、他館の対応はどうだったのか。

### 加藤平川公民館長

避難所は各館で開設したが、被害状況は地域によって異なる。

平川地区は被害がひどく、平川公民館では避難所開設のため中止した事業もあった。今後は、災害時の経験を活かして、災害に強い地域づくりのための事業展開を考えていきたい。

### 濱崎市民会館館長

市民会館の「災害・感染症への対応」は5館を総括して記載しているので、ご理解願いたい。

## 長崎副委員長

平川公民館の「幼児家庭教育学級」（平岡公民館と共催）の「親子いっしょのおはなし会」は、父親が参加しやすいように日曜日に開催するなど、努力がみられたと思う。また、フェイスブックの更新も、高く評価できると思う。

根形公民館の「ねこまる」でスタッフメンバーが増えたことは、更に進化していると思う。継続していくことは難しいと思うが、青少年が参加して数多くの人たちが関わる素晴らしい事業なので、ぜひ継続して更に進化させてほしい。

根形公民館は、「ローリングストックと災害時調理のテクニック講座」で一生涯懸命に防災講座を行っているので、これからも続けていくとともに、他館も見習ってほしい。「地域再発見講座」は、来年は市制施行30周年でもあり、地域愛を深める大切な講座なので、このような講座も増やしてほしい。

平岡公民館は館報「みのりの丘」で平岡地域の歴史紹介をしているので、地域に根差した公民館活動として評価すべきだと思う。

## 大野副委員長

「防災講座」については、2月の審議会でも新年度に取り組むと回答を受けているので、令和2年度の各館の取り組みに期待したい。

平川公民館と根形公民館では、（新型コロナウイルス感染所拡大防止のため実施できなかった）利用者懇談会でアンケートを実施したようだが、結果がまとまっていれば伺いたい。

平川公民館の「ユースカフェ」は、青年の出会いの場の提供だったと思うが、なぜ「子どもクラブ」と共催で行ったのか。

平岡公民館の「ひらおか子ども教室」は、職員の努力で参加人数が増加したので、評価できる。「国際理解セミナー」も、参加人数が増加しているので、評価できる。職員が代わっても講座の参加人数が減るようなことがないように努力してほしい。

## 加藤平川公民館長

利用者懇談会のアンケートでは、体育室の灯りが暗いという意見があった。LEDに替えたいと思っているが、高所作業が必要なので、財政課との協議が必要である。また最近では、利用時間を2時間までに制限しているため、30分ほど利用時間を延長させてほしいという要望も挙がっている。

「ユースカフェ」は、以前から参加者が減少傾向だったので、趣向をこらして「子どもクラブ」と共催して行った。それでも参加者は2名に留まったので、今年度は実施しない予定である。

## 大田根形公民館長

利用者懇談会のアンケート結果は、改めて報告したい。特に意見はなかったが、新入会員が少ないという登録サークルからの意見があった。実際に、去年は3団体が解散している。

## 大野副委員長

ホームページでサークルを紹介すると、他の市町村の方から問い合わせがある。地元の人あまりホームページを見ていないが、他市町村在住者や市外からの転入者は結構見ているようである。ホームページで新入会員を増やすことは、難しいと思う。公民館で、新しいサークルを立ち上げる努力もしてほしい。

## 片寄委員

市民会館の「親業訓練入門講座」について、受講生有志によって「親業訓練一般講座」が開催されたと記載されているが、有志者が何人いたのか。また、費用的にはどうだったのか。「災害・感染症への対応」について、避難所運営マニュアルを作成するようだが、危機管理課と相談して進めてほしい。また、避難所運営における新型コロナウイルス感染症対策については、どのように考えているのか。

根形公民館の「ローリングストックと災害時調理のテクニック講座」は、講座生が講師になって教える立場になるほど発展してきたので、とても素晴らしいことだと思う。この事業は、令和2年度は行わないと前回の審議会で聞いたと思うが、違ったかたちで「防災講座」を発展させていくのか、あるいは完全にやめてしまうのか。また、「ワーキングママ支援講座」は、1回目は働く意思を持った母親が対象だったのに、なぜ2回目は単なる母親だけになったのか。

## 大野市民会館主幹

「親業訓練一般講座」は、入門講座を受講した6名の有志者が立ち上げた。講師謝金は有志者が費用を出し合って、講座を行った。市民会館は、部屋の提供で支援した。

## 濱崎市民会館館長

避難所の新型コロナウイルス感染症対応については、避難所への避難だけではなく自宅内や近隣の親戚への避難や、発熱者の区分などが危機管理課から指示されている。危機管理課では、避難所に対して非接触型体温計や物品の配布を用意している。具体的には、避難所運営マニュアルの作成などで検討していきたい。

### 大田根形公民館長

「ローリングストックと災害時調理のテクニック講座」は、講座生が講師になっている。今年度は講座としては予定していないが、5月の一斉清掃後に下新田区と「合同防災講座」の開催を予定していた。この講座は、新型コロナウイルスの影響で延期になったので日程調整を行うが、「ローリングストック」で考えたレシピをつくってみたいと考えている。

「ワーキングママ」は、当初は働こうとする母親のみを対象にしたが、子育てしながら働いている母親にも役に立つ内容もあったので受け入れることにした。前年度は金曜日に4回開催したが、今年度は働いている母親すべてを対象に土曜日・4回の開催を予定している。

### 鈴木委員

横田の山中区にある民間ケアセンターの事務局長と話をし、非常時には施設の3階まで使って良いという内諾を得ている。市と正式に提携して避難所できないか。

### 加藤平川公民館長

民間避難所との提携契約については、危機管理課と協議をさせていただきたい。民間施設も含めた分散型避難所の運営については、今後検討していく必要があると思う。

### 田中委員

今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止による自粛で、生活様式の見直しが必要だと思った。公民館という組織も、本当に不要不急か。公民館では教育ビジョンの項目に即して事業計画をつくっているが、どうやって集客するのか、かなり苦労していると思う。公民館が本当にやるべきことは何なのか、見直すべきではなからうか。

平川公民館のフェイスブックについて、九州のある地方自治体のフェイスブックでは、市民からの意見がすべてオープンになってしまったため、市職員が説明せざるを得ない状況になった。良いツールだと思うので、どのような情報発信や学習ができるのか、考えてほしい。

### 稲毛委員長

他にございますか。それでは、質問等がないようですので、報告1について終了いたします。

次に、報告2、市民会館・公民館における新型コロナウイルス感染症への対応について、事務局より補足説明をお願いします。

#### **事務局**

(資料24～25ページに基づき、濱崎市民会館館長が説明。)

#### **稲毛委員長**

ただ今の説明に対して、委員の皆さまからご質問をお受けします。

#### **田中委員**

千葉県では、6月19日に施設の利用を全面的に解除したが、6月23日段階で3人が新たに感染し、延べ933人の感染が確認された。症状がある方が822人で、無症状の方が111人だと、ホームページに記載されていた。公民館の利用制限は、ワクチンができれば解除するのか。あるいは、新生活様式のため継続するのか。

#### **濱崎市民会館館長**

緊急事態宣言が解除されてから、まだ2週間も経っていないので、制限を解除することは難しいと思う。ワクチンはまだ開発されていないし、新しい生活様式や3密防止も配慮して、これからの公民館の利用や講座の運営を考えていかなければならないと思う。

#### **田中委員**

使用制限の全面解除は、どこで決定するのか。どのような体制になっているのか。

#### **根本部長**

市の対策としては、法定の対策本部は緊急事態宣言が解除されたため解散したが、それ以前から自主的に対策本部を設置している。この案件は、そこで決定することになる。対策本部は、主管課は健康推進課で、トップは市長である。新しい生活様式がいわれている中で、まったく元に戻るとは考えにくい。ワクチンが開発されれば元に戻ることがあるかもしれない。

#### **片寄委員**

7・8月以降に市民会館大ホールを使って様々なイベントが開催されると思うが、イベント開催の基準はどのようになっているのか。人数制限や開催中止を

求めるのか。

#### **濱崎市民会館館長**

大ホールは、窓が無い施設なので、現在は換気量が足りているか確認中である。県の基準の定員は屋内の場合は1,000人または従来の定員の半数の少ない方とされているので、現在では出演者と観客を含めて100人までの利用制限を行っている。

#### **大野副委員長**

ロビーの利用は、資料に記載がないが制限しているのか。特に、平川公民館では雨天時に中学生の利用が多いと思うが。

#### **濱崎市民会館館長**

ロビーについては、緊急事態宣言発令直後はイスなどを撤去した。現在では、対面での飲食や会話を回避できるようにイスの配置を変えたりするなどして、ロビーを提供している。

#### **大野副委員長**

ロビーの利用に際して、検温や受付名簿記入は行っているのか。

#### **濱崎市民会館館長**

行っていない。

#### **代田委員**

公民館まつりとロビー展示の開催の見通しはどうか。

#### **濱崎市民会館館長**

公民館まつりについては、館長会議で検討しており、具体的にはまだ決定していない。ロビー展示については、これまでどおり実施する。

#### **齋藤委員**

利用サークルのメンバーの一人が感染したら、公民館の利用はどのようにするのか。利用禁止にするのは、そのサークルだけか、同じ利用日のサークルまでか、館全体までか。

### 濱崎市民会館館長

まだ想定していないが、閉鎖の状況も考えていかなければならない。

### 長崎副委員長

資料6ページに「災害時の備えをより万全にしていく必要」があるので「避難所運営マニュアル」を作成すると記載されているが、今朝も地震があった。災害はいつ来るかわからないし、今年の台風も心配である。公民館の避難所運営マニュアルは、もう出来上がったのか。

### 濱崎市民会館館長

現時点では、市全体のマニュアルしかなく、それに基づいて行動している。昨年度は台風被害があったので、職員が行動しやすい、現場に即した具体的なマニュアルを今年度中に作成したいと考えている。

### 稲毛委員長

他にございますか。それでは、質問等がないようですので、報告2について終了いたします。

報告3のその他について、何かございますか。

ないようなので、次に議題1、令和2年度公民館運営審議会の年間計画について、事務局より補足説明をお願いします。

### 事務局

(資料26ページに基づき、大野市民会館主幹が説明。)

### 稲毛委員長

ただ今の説明に対して、委員の皆さまからご質問をお受けします。

### 片寄委員

公民館まつりの開催または中止の判断の時期はいつか。

### 濱崎市民会館館長

各館で8月に実行委員会議を行うので、それを目途に決めていきたい。根形公民館は7月に実行委員会議を行っているので、実行委員会議後になってしまうと思う。



### 稲毛委員長

他にございますか。それでは、質問等がないようですので、議題1について終了いたします。

次に、議題2、その他について、事務局より補足説明をお願いします。

### 事務局

(資料27ページに基づき、大野市民会館主幹が説明。)

### 大野市民会館主幹

公民館まつりと成人式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年どおりの開催は難しいと思う。今後の情勢を踏まえて、実行委員などと十分に検討していきたい。

### 代田委員

公民館まつりの展示部門だけ開催する案はないのか。

### 濱崎市民会館館長

いろいろな案があるかと思うが、市民会館の3階中ホールの場合だと窓の開閉や換気、日差しの状況など展示会場としての都合がある。展示会場や日程を変更するなど、どのような代替案があるのか、今後検討していきたい。

### 稲毛委員長

青少年育成袖ヶ浦市民会議の理事を1名選出しなければならないが、立候補者はいますか。前回は田中委員を選出していた。(立候補者なし)立候補者がいないので、事務局案があれば披露してもらいたい。

### 大野市民会館主幹

引き続き、田中委員にお願いしたい。

(出席委員一同により、事務局案が承認された。)

### 稲毛委員長

他にございますか。それでは、質問等がないようですので、議題2について終了いたします。

次に、6のその他について、事務局から何かございますか。

### **濱崎市民会館館長**

本日の会議が第23期公民館運営審議会の最後の会議となり、7月の会議からは次期委員で諮ることになる。鈴木委員・遠藤委員・長崎委員の3委員が退任されるので、感謝を申し上げたい。

### **加藤平川公民館長**

平川公民館に植えられているアオノリュウゼツランが間もなく開花しそうなので、ぜひご覧いただきたい。

### **大野副委員長**

以上をもちまして、第1回公民館運営審議会を終了します。本日は、ありがとうございました。

午後4時32分閉会

## 令和2年度第1回袖ヶ浦市公民館運営審議会

日時：令和2年6月25日（木）

午後3時～午後5時

場所：平川公民館 2階視聴覚室

### 次 第

1 開会のことば

2 委員長あいさつ

3 教育部長あいさつ

4 報告

(1) 令和元年度市民会館・公民館事業の実施結果について

(2) 市民会館・公民館における新型コロナウイルス感染症への対応について

(3) その他

5 議題

(1) 令和2年度公民館運営審議会の年間計画について

(2) その他

6 その他

7 閉会のことば

## 第23期袖ヶ浦市公民館運営審議会委員名簿

No.	氏名	選出区分	備考
1	しょうじ みきお 庄司 三喜夫	学校教育 小中学校長会代表	1 期目
2	しろた まさふみ 代田 雅文	社会教育 文化協会代表	1 期目
3	たなか てるひろ 田中 輝博	社会教育 子ども会育成会連絡協 議会代表	2 期目
4	はやかわ あつし 早川 敦	社会教育 音楽協会代表	2 期目
5	いなげ ひろお 稲毛 博夫	社会教育 体育協会代表	委員長 7 期目
6	さいとう たかひこ 齋藤 隆彦	家庭教育	2 期目
7	ながさき ようこ 長崎 容子	学識経験者	副委員長 4 期目
8	おおの としえ 大野 俊江	学識経験者	副委員長 4 期目
9	かたよせ れいこ 片寄 礼子	学識経験者	2 期目
10	やまだ まちこ 山田 まち子	学識経験者	1 期目
11	えんどう のぶこ 遠藤 信子	学識経験者	1 期目
12	すずき としお 鈴木 利夫	公募委員	1 期目

任期 平成30年7月1日から令和2年6月30日まで

報告（１）令和元年度市民会館・公民館の事業実施結果

【市民会館】

No.	事業名		実施期日・回数等	参加人数	決算額 (千円)
1	目標 1 ① (ア) 地域 で子どもを 守る体制 づくり	青少年健全 育成事業	地区住民会議(坂戸の森みどりの会)活動	通年	各種団体22団体
2			青少年相談員支部活動	通年	青少年相談員14人
3			子ども会育成会支部活動	通年	単位子ども会8団体
4	目標 1 ① (イ) 子ども たちの体験・交流活動等の場 づくり		世代間交流事業	12月14日 1回	61人 0
5			通学合宿	9月23日～25日 中止	— —
6	目標 1 ② (ア) 家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(根形公民館と合同)	6月7日～1月21日 9回	107人 23
7			地域家庭教育学級	6月27日～2月28日 4回	89人 5
8			中学校家庭教育学級	6月20日～11月20日 5回	91人 60
9			親業訓練入門講座	10月5日・10月12日 2回	24人 88
10	目標 1 ③ (ア) 公民館における青少年事業の充実	青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室	5月19日～2月8日 8回	109人 29
11			ファミリー劇場	2月11日 1回	365人 300
12	成人式		1月12日	159人	846
13	目標 2 ① (イ) 社会教育関係団体の活動への支援	利用者懇談会	3月13日 中止	—	—
14	目標 2 ② (ア) 市民への学習機会の提供と地域と連携した公民館活動の充実	社会教育推進員活動		通年	社会教育推進員10人
15		公民館地域連携推進事業		12月26日・2月27日 2回	52人 0
16		成人教育推進事業	女性セミナー	6月25日～1月30日 7回	154人 10

No.	事業名		実施期日・回数等	参加人数	決算額 (千円)	
17	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	成人教育 推進事業	さわやかセミナー	9月28日・ 12月1日 2回	17人	6
18			単発講座	3月23日 中止	—	—
19			舞台コーディネーター養成講座	2月24日 1回	2人	30
20		高齢者い きがい促 進事業	昭和ふれあい教室 (高齢者教室)	5月29日～ 1月29日 7回	424人	16
21		まち・ひと・ しごと創生 関連事業	花咲け！女性シェ フ応援事業	—	—	—
22		目標2③ (ア)文化・ 芸術振興 のための 市民活動 の支援	各種行事 推進事業	第32回市民会館ま つり(文化協会後 援)	11月2日～ 3日 2日間	7,486人
23	ロビー展示			通年	8団体	0
24	第38回市民音楽 フェスティバル(音 楽協会との共催)			11月24日	1,201人	275
25	第32回芸能文化ま つり(文化協会との 共催)			1月26日	400人	113
26	親子deオペラ鑑賞デビュー(千 葉県文化振興財団との共催)			7月20日	144人	0
27	目標3① 公民館運 営審議会 の意見の 反映	公民館運営審議会	5月30日～ 2月20日 4回	委員12人	347	

## ○ 市民会館事業の総括

第2期教育ビジョンの基本目標である「明日を拓く 心豊かな たくましい 人づくり」の実現に向け、「地域」「子ども」「市民」の視点から、「学び つながり 支えあう教育」の推進のため幅広い世代を対象とした学習活動を展開しました。

また、事業の実施にあたっては、社会教育推進員をはじめ社会教育関係団体や地域団体などの各種団体、NPO、学校、行政、企業等と幅広く連携・協働により事業を展開しました。

### 1 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

#### ①学校・家庭・地域の連携強化による地域の教育力の向上

子ども安全パトロールや夏季愛のパトロールなどの地域で子どもを守る取り組みをはじめ、ペットボトルロケットづくりやレクリエーション行事など、子どもたちに様々な体験交流活動の機会を提供する昭和地区住民会議坂戸の森みどりの会の活動に対して、組織の構成団体または事務局として支援を行いました。市民会館と坂戸の森みどりの会が共催する世代間交流事業においては、クリスマスリースづくりとお正月のお飾りづくりを通じて、地域の方々、子ども達、及びその親を含めて、世代を超えた交流の場を提供することができました。

また、青少年相談員及び子ども会育成会の支部活動においては、団体の自主的な活動をサポートしました。今年度は子どもスポーツ大会参加に向けてチームメンバーを募集し、チームの募集・練習会の開催・当日のチーム運営について支援を行いました。

#### ②家庭の教育力の向上

子どもの発達段階に応じた乳幼児家庭教育学級（就学前の子どもの保護者）、地域家庭教育学級（小学生の保護者）、中学校家庭教育学級（中学生の保護者）の3事業を実施しました。また、子どもの学齢に関係なく子どもを持つ保護者を対象に、親業訓練入門講座を実施しました。

乳幼児家庭教育学級は、昨年度に引き続き根形公民館と共催で実施しました。親子を対象とした体験型の内容を充実させたことで、申込者数と各回の参加者数の双方が増加しました。またそれにより学級生同士の顔を合わせる機会が増え、より交流を深めることができました。さらに、父親の家庭教育への意識の向上及び、社会参加をするきっかけづくりとして、父親と子どものみを対象とした講座を2回実施しました。こちらも見込みよりも多くの父親の参加が見られ、子育てに対する参加意識の高さが伺えました。

地域家庭教育学級は、昭和小学校PTA及び奈良輪小学校PTAとの共催で実施しました。学級の企画から運営まで2校のPTAが協力して行い、子育てに関する学習機会の提供するほか、同じ世代の子どもを持つ保護者同士の交流を深めることができました。また、中学校家庭教育学級は、中学校PTAの委託事業として実施しました。それぞれの講演会では、親業訓練協会シニアインストラクターや大学教授を講師に迎え、子どもの年代に応じた子どもへの関わり方や子育て論を学び、子育てについて様々

な視点から見つめた講義は学級生に大変好評でした。

親業訓練入門講座は、子どもとのより良いコミュニケーション方法を学ぶため、グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習（訓練）を中心に実施しました。受講生からは、「毎日の子育てに不安を感じ、ストレスで苦しい時がありました。どうしたら良いのか？これで大丈夫？と悩んでばかりの時間が、講座に参加して、子供と過ごす時間が楽しいと思えるようになりました」などの意見が聞かれ、より良い親子関係を作るための知識、技術を学びました。また、受講生有志により、親業訓練一般講座が開催されるなどとても有意義な内容でした。

### ③地域の拠点づくりの推進

小学4年生から6年生までを対象とした子どもチャレンジ教室では、地域で活動する団体や学校などの協力のもと、市内や近隣の自然や食材、文化等に触れ、これらの事象に興味関心を持つきっかけになるような体験活動を行いました。今年度は新たに郷土博物館の収蔵庫見学及び国指定史跡の山野貝塚の紹介、自然体験として木更津市の盤洲干潟で生物観察会を行いました。また調理実習では君津地域由来の大豆を使った調理を体験しました。

## 2 市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援

### ①生涯学習推進体制の整備

社会教育推進員が主体となり、市内在住・在勤の男性を対象とした講座「さわやかセミナー」について職員と連携して企画・立案・運営を行い、社会教育推進員の資質の向上を図りました。

また、公民館やサークル活動のあり方について理解を図るほか、ハード、ソフト様々な面から利用者の意見、各団体が抱える課題について聴く場として、定期利用団体との利用者懇談会を開催しています。令和元年度は後述の新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としましたが、書面会議を行い、館に対し様々な意見をいただきました。

### ②人と人をつなぐ社会教育の充実

昭和地区の公民館として、地域住民の幅広い学習ニーズ及び地域課題に対応するため、講座生のアンケートなどをもとに社会教育推進員等の参画により学級・講座の企画・運営を行い、子どもから高齢者まで幅広い世代に応じた事業を実施しました。

また、地域の拠点施設である公民館の学習・交流機能を発揮し、関係機関や団体との連携により課題解決に向けた「公民館地域連携推進事業」を実施しました。実施の最終年度となる今年度は、高齢者支援課と協働で「地域で取り組む高齢者講座」と、「登録サークル等を講師とした講座」、及び事業の振り返りを実施しました。

「地域で取り組む高齢者講座」は、様々な事情により、市民会館主催の高齢者学級やシニアクラブの活動に参加しづらい高齢者の方をターゲットに、心身ともに健やかでいられるような体操などをおして、健康を維持してもらうこと、また参加者同士の交流を目的として、昭和地区内で会場を選定し「いきいき健康講座」を開催しまし



た。また、登録サークル等を講師とした講座では、書道サークルに依頼し冬休みに昭和地区の小学生を対象に書き初め講座を開催しました。参加者、保護者だけでなく講師からも好評で、公民館登録サークルの活性化及び学習成果の活用や地域の交流を図ることができました。

市民が利用しやすく安心して安全な施設を提供するために安全点検日を設け、施設の定期的な安全点検を実施し適切な維持管理に努めました。

また、老朽化した中ホール棟の外壁屋根等の改修工事を実施し、来館者の安全確保を図りました。

### ③地域に根ざす文化・芸術活動の推進

市民会館大ホールでは、文化協会や音楽協会などの社会教育関係団体の発表を通して広く市民に文化・芸術の振興に努めています。

また、大ホールの運営にあたっては、舞台の照明、音響などの操作説明と指導にあたる非常勤職員を配置しています。さらに「舞台コーディネーター養成講座」や団体の定期公演等の機会を通じて、利用団体に対して音響・照明操作に係る技術習得の支援を行っています。

なお、各種行事推進事業である市民会館まつり、市民音楽フェスティバル、芸能文化まつりは、文化協会、音楽協会との共催で実施しました。ロビー展示と併せて、身近な場所での文化・芸術の振興に努めることができました。

## 3 市民のニーズに応じた公民館づくり

### ①公民館運営審議会の充実

市民会館事業の企画や諸課題について提案をし、公民館運営審議会の意見を反映しながら公民館運営の充実を図りました。

### ②運営評価への取り組み

市民会館の事業・運営について客観的に評価するため、講座参加者へアンケートを実施しました。

### ③職員の資質の向上

公民館職員としての資質の向上のため、千葉県公民館連絡協議会研修委員、君津地方公民館連絡協議会、君津地方社会教育研究会等の研修に参加するなど、公民館職員としての資質の向上に努めました。

### ④公民館施設の利用促進

地域の住民にとって身近で、人の集まる、地域の拠点である公民館としての市民会館を目指し、施設の利用を促進しました。

## 4 その他（災害・感染症への対応）

令和元年9月に発生した台風15号及び同年10月に発生した台風19号の通過の

際には、避難所として開設しました。台風15号時は大ホールの雨漏り等大きな被害を受けましたが、通過後市内全域で停電があったため、避難場所だけでなく充電場所を提供しました。また、台風19号時は上陸前から避難所開設を行い、多くの市民が避難しました。

他部署の応援もあり大きなトラブルなく避難所運営を行うことができましたが、複数の講座の中止や、利用者には施設の利用を取り消していただき、長期にわたり活動を休止するなどの協力をいただきました。今後避難所ごとの避難所運営マニュアルの作成等、災害時の備えをより万全にしていく必要があります。

さらに、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、3月以降施設の貸出し制限及び停止を行いました。市民や団体の自主活動の機会を奪う形となっていますが、利用制限の趣旨を周知の上、感染の拡大防止と安全を第一に対応しました。また、これに伴い利用者懇談会をやむを得ず中止としましたが、登録団体には会議資料にアンケートを添え、利用者の声を館の運営に活かすこととしました。

今後も、市民が学び、つながり、支えあう社会教育の拠点として、住民主体の学習活動を展開し、心豊かなたくましい人づくりと地域づくりの実現に向けた運営を行います。

【平川公民館】

No.	事業名		実施期日・回数等	参加人数	決算額 (千円)	
1	目標1① (ア)地域 で子どもを 守る体制 づくり	青少年健全 育成事業	地区住民会議(中 富ふれあいの会)活 動	通年	各種団体19団体	
2			青少年相談員支部 活動	通年	青少年相談員9人	
3			子ども会育成会支 部活動	通年	単位子ども会4団体	
4	目標1② (ア)家庭 の教育力 向上のた めの支援	家庭教育 総合推進 事業	幼児家庭教育学級 (すまいる学級)(平 岡公民館と合同)	6月7日～ 12月19日 7回	33人	平岡で 計上
5			中富地域家庭教育 学級	6月27日～ 12月10日 4回	57人	7
6			平川中学校家庭教 育学級	6月20日～ 12月11日 4回	46人	40
7	目標1③ (ア)公民 館における 青少年事 業の充実	青少年教 育推進事 業	子どもクラブ	4月28日～ 12月21日 6回	138人	11
8	成人式			1月12日	92人	市会で 計上
9	目標2① (イ)社会 教育関係 団体の活 動への支 援	利用者懇談会		中止	—	—
10	社会教育推進員活動			通年	社会教育推進員10 人	
11	公民館地域連携推進事業			5月30日～ 2月4日 5回	229人	45
12	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	成人教育 推進事業	女性セミナー	5月22日～ 2月6日 7回	105人	19
13			ものづくり講座	12月2日～ 12月11日 4回	20人	20
14			園芸講座	5月21日～ 12月13日 4回	40人	17
15			庭木の手入れ入門講座 (シルバー人材センター と共催)	5月25日～ 11月30日 5回	42人	23

No.	事業名		実施期日・回数等	参加人数	決算額 (千円)
16	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	成人教育 推進事業	庭木ステップアップ講座 (新、シルバー人材セン ターと共催)	1月25日 1回	16人 0
17		高齢者 いきがい 促進事業	うぐいす学級(高齢 者教室)	6月13日～ 2月20日 5回	104人 14
18	目標2③ (ア)文化・ 芸術振興 のための 市民活動 の支援	まち・ひと・ しごと創生 関連事業	ユースカフェ(青年 教室)	7月20日 1回	2人 0
19			第33回平川公民館 まつり	11月23日～ 24日 2日間	6,260人 171
20		各種行事 推進事業	ロビー展示	通年	14団体 0

## ○ 平川公民館事業の総括

平川公民館は、第2期教育ビジョンの基本目標である「明日を拓く 心豊かな たくましい 人づくり」の実現に向け、「地域」「子ども」「市民」の視点から、「学び つながり 支えあう教育」を推進するため、社会教育推進員をはじめとした社会教育関係団体等との連携により各種事業を実施しました。

### 1 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

#### ①学校・家庭・地域の連携強化による地域の教育力の向上

青少年の健やかな成長と安全を守る目的で活動する、地区住民会議（中富ふれあいの会）の研修会やデイキャンプ、愛のパトロール、花いっぱい活動などの取組みを支援しました。

また、新春チャンピオン大会など、青少年相談員平川支部の行う、子どもたちの体験・交流活動を支援しました。

#### ②家庭教育力の向上

子どもの発達段階に応じて、幼児・中富地域の小学生・平川中学校の生徒それぞれを対象に、家庭教育学級を合計15回開催（台風15号の影響による中止3回）し、子育てに関して学習すると同時に、同じ世代の子どもを持つ保護間で交流できる機会を提供しました。

幼児家庭教育学級については、平岡公民館との合同開催としました。

また、5館合同事業として、子どもとのコミュニケーションをテーマにした講演会を開催しました。更に、子どもたちが本に親しめる機会とする目的で、絵本の読み聞かせ講座も計画しましたが、台風15号の影響により中止となりました。

なお、父親も参加しやすいように、「親子いっしょのおはなし会」については、日曜日に開催しました。

家庭教育推進協議会では、家庭教育学級担当職員・社会教育推進員が出席して、家庭教育学級の学習内容などについて協議しました。

#### ③地域の拠点づくりの推進

「子どもクラブ」を6回開催（台風15号の影響により1回中止）して、調理実習・川遊び・科学実験など、非日常の体験を通じて、学習する機会を提供しました。

### 2 市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援

#### ①生涯学習推進体制の整備

ホームページ「中富だより」とフェイスブックを随時更新して、中富地区の情報を発信しました。

館報「平川公民館だより」を年3回発行して、主催講座・平川公民館まつりの紹介などを行い、地域に根ざした公民館活動を展開しました。また、ちば予約システムを活用し、利用者の利便性を向上させました。

公民館の経営方針や事業運営についての理解を図るとともに、サークル等社会教育関係団体が自主的に運営できるように支援するため、利用者懇談会の開催を計画しました。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

## ②人と人をつなぐ社会教育の充実

市民の幅広い学習ニーズに応える社会教育の拠点として、また、自己学習から集団学習へとつなぐ学習の場となるようにするために、成人教育推進事業・高齢者いきがい促進事業・公民館地域連携推進事業・ユースカフェ(まち・ひと・しごと総合戦略事業)として各種講座を合計32回開催しました。(台風15号の影響により3回中止)

成人教育推進事業では、袖ヶ浦市シルバー人材センターと共催で、「庭木の手入れ入門講座」「庭木の手入れステップアップ講座」を開催し、造園の基礎知識を身に着け、生活向上と地域間の交流を図りました。

公民館地域連携推進事業では、引き続き「地域で取り組む高齢者講座」として中富地区社会福祉協議会と共催で各地区に出かけて講座を開催しました。「登録サークル等を講師とした講座」では子ども書き初め教室を開催しました。また、「防災講座」では、これまでの中富ふれあいの会デイキャンプと共催の防災講座に加えて、新たに「炊き出し体験会」を開催して防災意識を高めました。台風15号により避難所を約1か月間開設したので、その時の経験を基に来年度の講座内容を検討していきたいと考えています。

まち・ひと・しごと創生総合戦略事業では、「ユースカフェ」として、「子どもクラブ」と共催してバーベキューを開催して、異世代間の交流の場を提供しました。

市民が利用しやすく安心して安全な施設を提供するため、施設の定期的な安全点検を実施し、適切な維持管理に努めるとともに、利用者とともに避難訓練を実施して利用者の安全に努めました。

## ③地域に根ざす文化・芸術活動の推進

ロビー展を開催して、袖ヶ浦市文化協会加盟団体などの社会教育関係団体の活動成果の発表機会を提供するとともに、市民に芸術に親しむ機会の提供を行いました。

【長浦公民館】

No.	事業名		実施期日・回数等	参加人数	決算額(千円)
1	目標1① (ア)地域で子どもを守る体制づくり	青少年健全育成事業	長浦地区住民会議(ながうら青空の会)活動	通年	各種団体19団体
2			青少年相談員支部活動	通年	青少年相談員22人
3			子ども会育成会支部活動	通年	単位子ども会4団体
4			通学合宿	9月29日～10月1日 中止	—
5	目標1② (ア)家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	ながうら幼児家庭教育学級	6月7日～12月5日 7回	25人 16
6			ながうら地域家庭教育学級	6月27日～12月1日 7回	148人 16
7			長浦中学校家庭教育学級	6月20日～1月15日 5回	85人 40
8			蔵波中学校家庭教育学級	6月20日～2月15日 5回	62人 40
9	目標1③ (ア)公民館における青少年事業の充実	青少年教育推進事業	わんぱく教室	5月18日～12月21日 8回	102人 22
10			長浦ジュニアお琴・尺八教室	5月11日～2月15日 14回	212人 0
11	成人式		(蔵波地区)	1月12日	118人 市会で計上
			(長浦地区)	1月12日	71人 市会で計上
12	目標2① (イ)社会教育関係団体の活動への支援	利用者懇談会		中止	— —
13	目標2② (ア)市民への学習機会の提供と地域と連携した公民館活動の充実	社会教育推進員活動		通年	社会教育推進員10人
14		公民館地域連携推進事業		1月16日～24日 6回	86人 101
15		まち・ひと・自分の地域は自分でつくる！地域支援づくり講習会		中止	— —

No.	事業名		実施期日・回数等	参加人数	決算額 (千円)	
16	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	成人教育 推進事業	女性セミナー	5月16日～ 2月5日 8回	205人	45
17			男性セミナー	6月22日～ 1月18日 6回	33人	26
18			ながうら遊学塾	6月12日～ 1月8日 7回	188人	28
19			お正月飾りづくり講 習会	12月23日 1回	11人	10
20	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	高齢者い きがい促 進事業	長浦さわやかスクー ル(高齢者教室)	5月15日～ 2月20日 10回	485人	69
21			長浦公民館まつり	11月23日～ 24日 2日間	5,796人	266
22	目標2③ (ア)文化・ 芸術振興 のための 市民活動 の支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	通年	16団体	0



## ○ 長浦公民館事業の総括

長浦公民館は、第2期教育ビジョンの基本目標である「明日を拓く 心豊かな たくましい 人づくり」の実現に向け、「地域」「子ども」「市民」の視点から、「学び つながり 支えあう教育」を推進するため、社会教育推進員をはじめとした社会教育関係団体等との連携により各種事業を実施しました。

### 1 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

#### ①学校・家庭・地域の連携強化による地域の教育力の向上

地域で子どもを守る体制を強化するため、青少年相談員長浦支部や長浦地区住民会議ながうら青空の会をはじめとした青少年健全育成関係団体と各種事業を通じて連携しました。

また、子どもたちの体験、交流活動等の場をつくるために、青少年相談員や地区住民会議の様々な活動を支援しました。

青少年相談員長浦支部が主催する長浦公民館まつりの「チビッコ広場」や「チャンピオン大会」などの催物では、異学校・異学年間の子どもたちの交流を促進させ、青少年相談員と地域の子どもの関わりの場を設けることができました。

長浦地区住民会議ながうら青空の会が取り組む「あおぞらクラブ」「なごやか交流会」では、子どもたちの自主性、協調性、社会性を育むとともに、地区住民会議を担う地域の人たちと地域の子どもの異世代間交流となる事業を支援しました。さらに、「デイキャンプ」では、薪割りや防災倉庫のかまどを使用した炊飯、キャンプファイヤーなどの日ごろ体験できない活動を通じて、異学校・異学年間の子どもたちやその保護者たちと交流することができ、地区住民会議の活動を知ってもらう良い機会となりました。

長浦公民館まつりは、社会教育推進員、青少年相談員、公民館登録サークル等の公民館利用団体などが積極的に参画し、地域住民の交流の場とすることができました。

#### ②家庭の教育力の向上

家庭の教育力向上のための支援として、市の総合計画における重要な施策に位置づけられた家庭教育総合推進事業を実施しました。特に子どもの発達段階に応じて学習する幼児・地域・中学校家庭教育学級に力を入れました。また、生涯学習課が組織する家庭教育推進協議会に参加し、家庭教育に関する情報共有や各種事業の充実策について検討しました。

幼児家庭教育学級では同じ年頃の幼児を持つお母さんの仲間づくりを中心に楽しく交流しました。親子でレクリエーションや調理実習を行う中で育児などについて話しあえる仲間づくりの場を提供することができました。地域家庭教育学級では長浦小・蔵波小のPTAと共催で事業を行い、給食センター見学、防災講座「子どもの命をどう守るか」などにより子育てに関する知識の習得や情報交換の場を提供することができました。中学校家庭教育学級では長浦中・蔵波中PTAに委託し、思春期の心理などを学ぶ講座などを行いました。

### ③地域の拠点づくりの推進

子どもたちに不足しているといわれる様々な体験を提供する場として、公民館における青少年教育事業を充実させました。また、集団活動を通して社会生活に必要な自主性・協調性・社会性を身に付けさせ、心豊かなたくましい子どもを育成するための事業を展開しました。

わんぱく教室では、様々な体験活動を通じて異学校・異学年の子ども間の交流を目的とし、潮干狩り、フラワーアレンジメントやクリスマスケーキづくりなどを行いました。また、デイキャンプを長浦地区住民会議ながうら青空の会との共催で開催しました。

## 2 市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援

### ①生涯学習推進体制の充実

市民の多様化・高度化する学習ニーズに応えるために関係機関・団体の学習情報を収集・共有、ホームページの充実を図りました。

また、様々なグループ・サークルが施設予約管理システムを利用して社会教育施設を利用できるように努めました。

### ②人と人をつなぐ社会教育の充実

市民の幅広い学習ニーズに応える生涯学習の拠点として、また自己学習から集団学習へとつなぐ学習の場として利用できるような教育施設になるよう努めました。そのために公民館で活動する社会教育推進員と地域課題や生活課題を的確に捉えた企画を練り、特色のある成人教育・高齢者教育事業を展開するよう努めました。

男性セミナーでは、軽スポーツや調理実習などを行い、仲間づくりの場を提供することができました。

女性セミナーでは、減塩に関する調理実習、生活に密着した睡眠に関する講義、多肉植物の寄せ植えなど身近な内容を取り上げ、多数の講座生が参加しました。

ながうら遊学塾では、「楽しみながら学ぶ」をテーマに健康づくり・趣味・教養・実学など様々な分野の学習を行いました。

長浦さわやかスクールは、地区シニアクラブの代表者と運営委員会を組織し、企画・運営を行いました。参加者のニーズに合わせ、消費者講座や袖ヶ浦市の防災に関する講話などの講座の他、芸能発表会やグラウンドゴルフ大会などを開催し、健康づくりや地域の人達の交流を深める場の提供に努めました。

公民館地域連携推進事業は、初級パソコン講座でワードの基本操作を学習する機会を提供し、地域の情報リテラシーの向上に努めました。

また、市民が利用しやすく安心して安全な施設を提供するために安全点検日を設け、施設の定期的な安全点検を実施し適切な維持管理に努めるとともに、災害等の際に利用者の安全確保するための避難訓練を実施しました。さらに、1階女子トイレの洋式化を実施し利用者ニーズに沿った施設の利便性の向上に努めました。

### ③地域に根ざす文化・芸術活動の推進

文化・芸術振興のための市民活動の支援として、長浦公民館では、わが国の伝統音楽である邦楽を子どもや市民が自ら演奏して楽しむ機会を提供するため、「長浦ジュニアお琴・尺八教室」を音楽協会の団体と連携して開催し、子どもの文化芸術活動の充実と邦楽の継承者育成を図りました。

### 3 市民のニーズに応じた公民館づくり

ロビーにおいて文化協会・公民館サークル等の作品展示を行うことで公民館で活動しているサークルに発表の場と周知の機会を提供することにより公民館利用の促進を図り、市民活動支援課による子どもの人権ポスター入賞作品の展示を行うことで多くの公民館利用者に袖ヶ浦市の子どもたちの成果を知ってもらう機会になりました。

【根形公民館】

No.	事業名		実施期日・回数等	参加人数	決算額 (千円)
1	目標1① (ア)地域で子どもを守る体制づくり	青少年健全育成事業	地区住民会議(根っ子の会)活動	通年	各種団体20団体
2			青少年相談員支部活動	通年	青少年相談員8人
3			子ども会育成会支部活動	通年	単位子ども会6団体
4	目標1② (ア)家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(市民会館と合同)	6月7日～1月21日 9回	107人 13
5			地域家庭教育学級	5月28日～12月18日 5回	47人 6
6			中学校家庭教育学級	5月28日～12月18日 5回	58人 40
7			ワーキングママ支援講座	8月30日～10月4日 4回	48人 42
8	目標1③ (ア)公民館における青少年事業の充実	青少年教育推進事業	花まる絵画教室	6月22日～12月21日 6回	104人 88
9			子ども絵画教室	5月18日～2月8日 9回	142人
10			ねがたオープンキャンパス(ねこまる)	8月7日～8月25日 4回	233人 24
11	成人式		1月12日	44人	市会で計上
12	目標2① (イ)社会教育関係団体への支援	利用者懇談会	3月3日 中止	—	—
13	目標2② (ア)市民への学習機会の提供と地域と連携した公民館活動の充実	社会教育推進員活動		通年	社会教育推進員10人
14		地域づくり推進事業	ローリングストックと災害時調理のテクニック講座	6月1日～29日 4回	69人 64
15			下新田区との合同防災講座	5月26日 1回	35人 0

No.	事業名		実施期日・回数等	参加人数	決算額 (千円)	
16	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	地域づくり 推進事業	出張演奏会	11月28日 1回	117人	0
17			書き初め教室	12月23日 1回	19人	0
18	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	成人教育 推進事業	成人絵画教室	5月25日～ 2月22日 10回	101人	60
19			地域再発見講座	6月10日～ 2月1日 9回	142人	29
20	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	高齢者い きがい促 進事業	根形ニコニコ教室 (高齢者教室)	5月22日～ 2月19日 10回	345人	38
21		各種行事 推進事業	第33回根形公民館 まつり	11月2日～ 3日 2日間	8,063人	307
22	ねがたファミリーコン サート		8月3日 1回	106人	0	
23	ロビー展示		通年	14団体	0	
24	根形公民館サーク ル作品展		3月14日～ 22日 中止	23団体	0	

## ○ 根形公民館事業の総括

令和元年度市民会館・公民館経営方針に基づき、地域住民の学習ニーズに応える生涯学習の拠点として、地域の持つ課題や社会の変化に応じた課題を十分に把握して、市民、学校をはじめとした関係機関、各種団体及び社会教育推進員との連携により、市民の生活や暮らしを豊かにする学習活動を展開しました。

### 1 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

#### ①学校・家庭・地域の連携強化による地域の教育力の向上

地域で子どもの安全を守るため、子ども安全パトロールなどの取り組みを行う地区住民会議及び青少年相談員の活動を支援しました。

子どもたちの体験活動、交流活動を行う青少年相談員、子ども会育成会、地区住民会議及び社会教育関係団体等の諸活動を支援しました。

#### ②家庭の教育力向上

子育てに関する学習をとおして、同じ世代の子どもを持つ保護者の交友関係を広げることを目的に、子どもの発達段階に応じた家庭教育学級を開設しました。

乳幼児家庭教育学級は、対象を0歳から小学校入学前の子どもを持つ保護者とし、市民会館と合同で開催しました。年間回数を増加したこともあり、学級生同士が顔を合わせる機会が増え、より交流が深まりました。また、口コミ等で参加者が開催中に増加しました。今年度は、父親の家庭教育への意識の向上及び社会参加するきっかけづくりとして、父親と子どものみを対象とした講座を2回実施し、見込みよりも多くの父親の参加が見られ、意識の高さを実感しました。

さらに、より多くの保護者への学習機会の提供と家庭教育学級のPRを兼ねて、子育てに関する合同講演会を公開講座として開催するなど、関係機関・団体との連携をいっそう深め、学習内容の充実と子育てに関する情報の提供に努めました。

地域家庭教育学級及び中学校家庭教育学級は、合同で実施し、参加した保護者は、より幅広い世代間で交流でき、親睦を深めることができました。

ホームページや館報を活用して、家庭教育学級の活動の紹介や子育てサークル等に関する情報提供を行いました。

#### ③地域の拠点づくりの推進

子どもたちに不足しているといわれている自然体験・社会体験などの機会を提供しました。また、集団での活動により社会生活に必要な規範意識や協調性を身につけ、心豊かなたくましい子どもを育成しました。

小学生を対象に「花まる絵画教室（低学年）」や「子ども絵画教室（高学年）」を実施し、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、積極的にその活動を周知しました。

また、地域の若者（N.O.C）と協働で、将来、地域を担う仲間となる青少年が集い、交流し、育みあう場所となる「ねがたオープンキャンパス（ねこまる）」を開催しました。通常版では、根形公民館登録サークルの上総シニアアンサンブルが演奏会を開くなど、活動の幅が広がりました。また、宿泊版では、主に君津市で活動するミライ

キカクの若者たちの協力を今年度も得ることができました。N.O.Cもメンバーが増え、また、若者たちの交流の輪が年々広がるなど、ねこまろの継続・発展が期待されます。

デイキャンプや子ども安全パトロールなど、地域で青少年の健全育成に取り組む地区住民会議への支援を実施しました。

## 2 市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援

### ①生涯学習推進体制の充実

生涯学習に関する情報を収集し、学習相談への対応を図りました。また、ホームページを充実したものとするとともに、館報の発行と併せて、公民館活動の広報を積極的に進めました。

公民館登録サークル等社会教育関係団体の活性化と自主的な運営を支えるため、広報等で活動の周知を行いました。

また、各サークルへ講座等の講師を積極的に依頼するとともに「ねこまろ」などの事業への協力を呼びかけました。「教える」ことをとおして、やりがいや充実感を味わうことで、サークル活動の活性化を図ることができました。さらに、日頃の学習成果を発表する機会となりました。

### ②人と人をつなぐ社会教育の充実

市民の幅広い学習ニーズに応える社会教育の拠点として、社会教育推進員の参画により、子どもから高齢者までの幅広い世代を対象に、地域の特性に応じた学級・講座を開催しました。

また、地域の活動拠点として、関係行政機関や地域の各種団体、公民館登録サークルなどと連携・協力を図るとともに、公民館運営審議会の意見を聴きながら引き続き事業運営にあたりました。

今年度実施した、地域づくり推進事業では、「ローリングストックと災害時調理のテクニック講座」と「下新田区との合同防災講座」を実施しました。

「ローリングストックと災害時調理のテクニック講座」では、今までの非常食の備蓄という考えから、普段の食品などを使いながら備蓄を行う「ローリングストック」について学び、講座生の意識改革をすることができました。また、災害時に電気・ガス・水道が使えなくなった場合の調理方法について、様々なレシピを調理することで、そのテクニックを身に着けることができました。

さらに、ただ学ぶだけで終えるのではなく、講座生自らが災害時要配慮者向けのレシピを考案し、試行錯誤をしながら、3班で11種類ものレシピを完成させ、レシピ集としてまとめました。併せて、そのことを市のホームページや館報で公開することができました。講座生の中には、学んだ知識を地域に周知する活動も見られ、家庭教育学級で若い保護者向けや地域での防災訓練などで災害時調理について、今度は「教える側」として地域への還元を図りました。

### ③地域に根ざす文化・芸術活動を推進

文化芸術活動の振興として、登録サークルなどのロビー展示を開催し、学習成果を発表する機会としました。

【平岡公民館】

No.	事業名		実施期日・回数等	参加人数	決算額 (千円)
1	目標1① (ア)地域 で子どもを 守る体制 づくり	青少年健全 育成事業	地区住民会議(名 幸ヶ丘の会)活動	通年	各種団体18団体
2			青少年相談員支部 活動	通年	青少年相談員11人
3			子ども会育成会支 部活動	通年	単位子ども会10団 体
4	目標1① (イ)子ども たちの体 験・交流活 動等の場 づくり		通学合宿	7月7日～ 9日 2泊3日	23人 0
5	目標1② (ア)家庭 の教育力 向上のた めの支援	家庭教育 総合推進 事業	幼児家庭教育学級 (すまいる学級)(平 川公民館と合同)	6月7日～ 12月19日 8回	33人 53
6			ひらおか地域家庭 教育学級	6月27日～ 12月9日 5回	106人 40
7	目標1③ (ア)公民 館における 青少年事 業の充実	青少年教 育推進事 業	ひらおか子ども教室	8月1日～ 2月1日 6回	119人 17
8	成人式			1月12日	92人 市会で 計上
9	目標2① (イ)社会 教育関係 団体の活 動への支 援	利用者懇談会		3月5日 中止	— —
10	社会教育推進員活動			通年	社会教育推進員10 人
11	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	公民館地域連携推進事業		2月14日・ 29日 中止	— —
12		成人教育 推進事業	わくわく女性倶楽部	5月29日～ 1月31日 8回	148人 26
13			国際理解セミナー	8月31日～ 12月14日 5回	136人 60
14			男性のための料理 教室	12月20日 1回	14人 6
15			ひらおかハッピータ イム(世代間交流事 業)	8月21日 1回	16人 5



No.	事業名		実施期日・回数等	参加人数	決算額 (千円)
16	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提	高齢者い びが促 進事業	ひらおかシニアセ ミナー(高齢者教室)	5月29日～ 2月14日 9回	167人 30
17	供と地域と 連携した 公民館活 動の充実		平岡公民館文化・ス ポーツまつり	11月2日～ 3日 2日間	7,849人 182
18	目標2③ (ア)文化・ 芸術振興 のための	各種行事 推進事業	ロビー展示	通年	10団体 0
19	市民活動 の支援		サークル発表会	6月22日	33人 0

## ○ 平岡公民館事業の総括

平岡公民館では、令和元年度市民会館・公民館経営方針に基づき、「地域」「子ども」「市民」の視点から、社会教育推進員や地区住民会議をはじめ地域の社会教育関係団体等との連携のもと、「学び つながり 支えあう教育」を推進するため、各種の主催事業を実施しました。

### 1 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

平岡公民館では、地域の子どもたちを対象に、様々な分野の体験学習の場を提供し、異学年や地域の人々との交流を推進する事業を実施しました。

また、地区住民会議や青少年相談員といった青少年の健全育成を目的として活動する社会教育関係団体が実施した、地域の子どもたちを対象とした各種事業の実施や登下校時の見守り活動などを支援しました。

#### ①学校・家庭・地域の連携強化による地域の教育力の向上

地区住民会議「名幸ヶ丘の会」や青少年相談員平岡支部が実施している「愛のパトロール」など、子どもの安全を守るための活動を支援しました。

名幸ヶ丘の会の通学合宿は、平岡小学校PTA等の協力のもと、青少年の健全育成を目的として実施し、学校・家庭・地域の連携を深めるとともに、自立心、協調性や忍耐力を育む場所を提供することができました。

また、青少年相談員平岡・中富支部の新春チャンピオン大会は、子どもたちの交流活動を目的に実施し、団体の自主的な活動を支援しました。

#### ②家庭教育力の向上

就学前の幼児を持つ保護者を対象とした幼児家庭教育学級及び、小学生の保護者を対象とした地域家庭教育学級の2つの事業を実施しました。それぞれの学級では、子どもの発達段階に応じた子育てに関する様々な学習や情報交換の場を提供するとともに、保護者同士の交流を図ることで家庭教育力の向上を推進しました。

なお、地域家庭教育学級については、平岡小学校PTAとの連携により、意見交換をしながら実施しました。

#### ③地域の拠点づくりの推進

地域の拠点づくりを推進するため、「ひらおかハッピータイム」では、子どもたちに体験の機会を提供するとともに、地域住民の世代間交流を図りました。

また、地域の青少年教育の拠点づくりを推進するため、「子ども教室」では、様々な分野の体験学習を実施し、新たな興味や発見する機会を提供する事業を実施しました。

### 2 市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援

地域住民の幅広い学習ニーズに応える社会教育の拠点として、また、自己学習から集団学習へとつなぐ学習の場となるよう各種学級・講座・セミナーを実施しました。企画や運営については、生涯学習情報の収集と地域住民への提供に努めるとともに、社会的

課題や地域課題及び、地域住民の学習ニーズを反映させるため、社会教育推進員との連携・協力のもとに実施しました。

また、公民館サークルに対しては、各種の情報や活動の場を提供するとともに、サークル発表会や文化・スポーツまつり等の開催により、学習成果の発表と団体間の交流の場を設けるなど活動の支援を行いました。

#### ①生涯学習推進体制の整備

館報「みのりの丘」を毎月発行して、主催講座、平岡公民館文化・スポーツまつりや平岡の歴史などの紹介を行い、地域に根ざした公民館活動を展開しました。

また、ちば予約システムを活用し、誰もが安全・安心して利用できるように利用者の利便性の向上を図ったほか、サークル等の社会教育団体が自主的に運営できるよう支援しました。

#### ②人と人をつなぐ社会教育の充実

国際理解セミナーでは、世界各国の現状、歴史や文化について学習し、最終回では食文化をテーマに調理実習を行い、食体験をとおして理解を深めるなど、有意義な講座を提供することができました。

わくわく女性倶楽部やひらおかシニアセミナーでは、講座生のアンケートなどをもとに、社会教育推進員とともに学級・講座の企画、運営を行い、受講後の生活に役立つ内容を多く実施しました。

男性のための料理教室は、米粉を中心とした献立で調理実習を行いました。男性でも簡単にできる献立であったため、参加して良かったという声が聞かれ、日常生活に役立つ講座を提供することができました。

#### ③地域に根ざす文化・芸術の推進

第14回平岡公民館文化・スポーツまつりでは、平岡小学校・幽谷分校・平川中学校の合唱や一輪車ダンスなどの発表を行ったほか、名幸ヶ丘ふれあいクラブによるスポーツイベントでは、地区別対抗による綱引きを行うなど地域の協力を得ながら実施することができました。

また、展示や講習会、イベントは地域・登録サークル・主催講座生・社会教育推進員の方々の協力を得ながら、創意工夫した内容となり、参加者同士の交流の場を提供することができました。

### 3 市民のニーズに応じた公民館づくり

地域のどなたでも気軽に集える場所として、オープンスペースを利用した居場所を提供し、各種活動の利用促進を図りました。

サークル発表会を開催し、登録サークルが平岡公民館文化・スポーツまつり以外に日々の学習の成果を披露し、地域の方に活動についてのPRする機会を提供しました。

また、ロビーにおいて文化協会・公民館サークル・平岡小学校・平川中学校等の作品展示を行い、多くの公民館利用者に学習の成果を発表することができました。

## 報告（2）市民会館・公民館における新型コロナウイルス感染症への対応について

### 1 市民会館・公民館の休館等について

日にち	休館及び再開等の内容	備考
3月2日 ～3月25日	条件付きの利用 ・子どものみの利用は不可とする。 ・子どもが主体の団体は、学校の臨時休校の趣旨（感染リスクに備えるための対応であること）を理解していただき、利用を控えてもらう。	3月2日～3月25日 市立小中学校の臨時休校
3月10日 ～3月31日	条件付きの利用（条件の追加及び期間の延長） ・サークル等の定例的な活動による利用を見合わせていただく。 ・この時期に行わなければならない会議等（自治会等の総会等）については使用を許可する。	県内で患者の発生が増加
3月25日 ～4月15日	休館（受付窓口は開設）	3月20日 木更津市で患者発生
4月8日 ～5月6日	閉鎖（施設予約、抽選申し込みは電話受付）	4月7日～5月6日 緊急事態宣言発令
4月8日 ～5月31日	閉鎖期間の延長	4月7日～5月31日 緊急事態宣言延長

### 2 市民会館・公民館の再開について

#### (1) 再開方針

国の緊急事態宣言解除（5月25日付）及び県による施設の使用停止要請の段階的解除（5月25日付）後、概ね1週間程度で各施設の利用を再開し、感染リスクに対する対策及び利用者への周知を図った上で、利用内容により段階的に貸し出しを行うこととする。

#### (2) 利用時の要件

- ア 対象者は市内在住・在勤者、または、市内で活動する団体。
- イ 「三つの密（密閉・密集・密接）」のリスクを低く抑えること。
- ウ 接触感染・飛沫感染のリスクを低く抑えること。

(3) 段階的再開について

<p>6月1日～ 6月14日</p>	<p>第1段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用時の要件」を満たしており、接触、飛沫、集客・密集による感染リスクの比較的低い活動を許可。</li> </ul> <p>(具体的な活動例)</p> <table border="1" data-bbox="464 416 1388 501"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会議、企業面接 等</li> <li>○ 「利用時の要件」を満たす文化芸術活動団体</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会議、企業面接 等</li> <li>○ 「利用時の要件」を満たす文化芸術活動団体</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会議、企業面接 等</li> <li>○ 「利用時の要件」を満たす文化芸術活動団体</li> </ul>		
<p>6月15日～</p>	<p>第2段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用時の要件」を満たし、接触、飛沫、集客・密集による感染リスクを最大限低減させることを条件に利用を許可。</li> </ul> <p>(具体的な活動例)</p> <table border="1" data-bbox="464 672 1388 1003"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ バレーボール、バスケットボール、フットサル、バドミントン、卓球、インディアカ、パドルテニス、フォークダンス、社交ダンス、スクエアダンス、ラインダンス、インドア・ローンボウルズ、ジャズダンス、エアロビクス、フラダンス、ヨガ、空手、太極拳、剣道、体操（健康体操・真向法体操など）、レクリエーション、舞踊、カラオケ、語学学習、詩吟、将棋、麻雀、合唱、管楽器、ミュージカル、オカリナ、ハーモニカ、篠笛、吹き矢、落語、相撲甚句、民謡、調理実習 等</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ バレーボール、バスケットボール、フットサル、バドミントン、卓球、インディアカ、パドルテニス、フォークダンス、社交ダンス、スクエアダンス、ラインダンス、インドア・ローンボウルズ、ジャズダンス、エアロビクス、フラダンス、ヨガ、空手、太極拳、剣道、体操（健康体操・真向法体操など）、レクリエーション、舞踊、カラオケ、語学学習、詩吟、将棋、麻雀、合唱、管楽器、ミュージカル、オカリナ、ハーモニカ、篠笛、吹き矢、落語、相撲甚句、民謡、調理実習 等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ バレーボール、バスケットボール、フットサル、バドミントン、卓球、インディアカ、パドルテニス、フォークダンス、社交ダンス、スクエアダンス、ラインダンス、インドア・ローンボウルズ、ジャズダンス、エアロビクス、フラダンス、ヨガ、空手、太極拳、剣道、体操（健康体操・真向法体操など）、レクリエーション、舞踊、カラオケ、語学学習、詩吟、将棋、麻雀、合唱、管楽器、ミュージカル、オカリナ、ハーモニカ、篠笛、吹き矢、落語、相撲甚句、民謡、調理実習 等</li> </ul>		
<p>未定</p>	<p>第3段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止策を講じた上で、更に制限を緩和する。</li> <li>・市外の方の利用も許可する。</li> </ul>	

(4) 利用時のお願い

- ア 定員に対し、概ね3分の1を下回る人数でのご利用をお願いします。また、利用時には、利用者名簿の提出をお願いします。
- イ 利用者のマスクの着用・手洗いを徹底してください。
- ウ 飲食はご遠慮願います。（水分補給を除く）
- エ 利用中は、定期的（1時間に一回以上、数分間程度、窓・扉を全開）に換気願います。
- オ 利用者同士の距離（概ね2m以上）を確保してください。
- カ 近距離での会話や発声、高唱、握手や肩を組むなどの相互接触を避けてください。
- キ 発熱・咳・だるさなど体調が優れない方は、利用を控えてください。
- ク 利用後は、清掃や消毒を行い、原状回復してください。
- ケ しばらくの間、利用時間を1日2時間までに制限させていただきます。

議題（１）令和２年度公民館運営審議会の年間計画について

回	日 時	内 容	会 場
1	6月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度市民会館・公民館事業の実施結果について</li> <li>・市民会館・公民館における新型コロナウイルス感染症への対応について</li> <li>・令和２年度公民館運営審議会の年間計画について</li> </ul>	平川公民館
2	7月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和２年度市民会館・公民館の事業計画について</li> <li>・令和３年袖ヶ浦市成人式について</li> <li>・地区住民会議令和元年度事業報告及び令和２年度事業計画について</li> </ul>	市民会館
3	10月15日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館・公民館事業の取組状況について</li> <li>・市民会館・公民館まつりについて</li> <li>・関東甲信越静公民館研究大会について</li> </ul>	平岡公民館
4	12月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館・公民館まつり実施結果について</li> <li>・令和３年袖ヶ浦市成人式の取組状況について</li> <li>・袖ヶ浦市教育ビジョンについて</li> </ul>	市民会館
5	2月16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和２年度市民会館・公民館事業の成果と課題について</li> <li>・令和３年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）について</li> <li>・令和３年袖ヶ浦市成人式の実施結果について</li> </ul>	根形公民館

- ◇ 6月 日（ ） 君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会総会（富津市）
- ◇ 7月 4日（土）袖ヶ浦市青少年健全育成推進大会（市民会館）（中止）
- ◇ 10月31日（土）～1日（日）市民会館・公民館まつり（根形・平岡）
- ◇ 11月 7日（土）～8日（日）公民館まつり（平川・長浦）
- ◇ 11月19日（木）～20日（金）関東甲信越静公民館研究大会（船橋市）
- ◇ 1月10日（日）袖ヶ浦市成人式
- ◇ 1月 君公連・公運審連合同研修会
- ◇ 2月13日（土）袖ヶ浦市生涯学習推進大会（市民会館）
- ◇ 2月 君公連館長部会・公運審連合同視察研修

## 議題（２）その他

### 1 市民会館・公民館まつりの日程について

10月31日（土）・11月 1日（日） 市民会館・根形公民館・平岡公民館

11月 7日（土）・ 8日（日） 平川公民館・長浦公民館

### 2 成人式の日程について

令和3年1月10日（日）

各会場開式予定時間

午前10時30分 昭和地区、蔵波地区、根形地区、平川地区

午後 1時30分 長浦地区

### 3 青少年育成袖ヶ浦市民会議の理事の選出について

令和2年3月23日付け青育市第29号にて青少年育成袖ヶ浦市民会議会長より、別紙のとおり理事の推薦について依頼がありました。

つきましては、公民館運営審議会から理事1名の推薦を行うものです。

○ 任期：令和2年4月1日から2年間

○ 活動内容：理事会（年2回程度）、青少年健全育成推進大会の運営 等

青育市第29号  
令和2年3月23日

公民館運営審議会  
委員長 稲毛 博夫 様

青少年育成袖ヶ浦市民会議  
会長 二宮 義文



令和2年度青少年育成袖ヶ浦市民会議の理事について（依頼）  
早春の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より、青少年の健全育成にご協力を賜り深く感謝申し上げます。  
さて、貴団体に加入していただいている青少年育成袖ヶ浦市民会議ですが、理事を「青少年育成袖ヶ浦市民会議規約」の第8条第2項により、各関係団体から推薦された方に務めていただくこととなっております。

つきましては、お手数をおかけいたしますが、令和2年度における貴団体からの推薦者について、別紙「理事推薦書」を提出くださいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 提出書類 理事推薦書 1枚
2. 提出期限 令和2年5月18日（月）  
※提出期限以降に団体の長が確定する場合は、担当までご一報ください。確定後に推薦書の提出をお願い致します。
3. 提出先及び  
問合せ先 袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課（担当 佐野）  
〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1 TEL62-3743  
Email sode30@city.sodegaura.chiba.jp
4. 理事会日程 青少年育成袖ヶ浦市民会議第1回理事会について、下記の日程で開催を予定しております。推薦いただいた理事へは別途通知いたしますが、予めご承知おきください。

日時：令和2年6月3日（水）午後3時から  
会場：袖ヶ浦市役所旧館3階大会議室



令和2年度 市民会館・公民館等 職員録

教育委員会			
職名	氏名	備	考
教育長	御園 朋夫		
教育部長	根本 博之	議会事務局より	
市民会館 坂戸市場1566 62-3135			
職名	氏名	備	考
館長	濱崎 雅仁		
主幹	大野 正彦		
副主査	水流 拓馬		
主任主事	馬淵 貴裕		
平川公民館 横田115-1 75-2195			
職名	氏名	備	考
館長	加藤 寿起		
顧問	今宮 公雄	蔵波中学校より	
主幹	能城 秀喜		
主査	渡辺 徳人		
主事	今村 美由希	福祉部介護保険課より	
長浦公民館 蔵波513-1 62-5713			
職名	氏名	備	考
館長	柏木 喜男	学校給食センターより	
顧問	石橋 健彦		
主幹	須田 紀子		
副主査	富士井 雄太		
主事	野中 晃希		
根形公民館 下新田1277 62-6161			
職名	氏名	備	考
館長	大田 知司		
顧問	平賀 栄三郎		
主幹	葛田 陽子	福祉部障がい者支援課より	
主査	木村 卓郎		
平岡公民館 野里1563-1 75-6677			
職名	氏名	備	考
館長	鹿嶋 章夫	福祉部地域福祉課より	
顧問	在原 徹		
副主幹	小川 修也	生涯学習課より	
主任主事	切替 拳佑		
副主査	石渡 悟	再任用	
生涯学習課 坂戸市場1-1 社会教育班:62-3743 文化振興班:62-3744			
職名	氏名	班名	備考
課長	生方 和義		福祉部子育て支援課より
班長	浦邊 宜文	社会教育班	
副主査	佐野 友章		
主任主事	宮澤 彩花		
主事	川俣 雄平		新規採用
主事	高橋 はな		
副課長	稲葉 理恵	文化振興班	
主査	柳井 健		市民健康部市民活動支援課より
副主査	大河原 務		
学芸員	鎌田 望里		
学芸員	助川 諒		
副主査	光江 章		再任用